

# ICT を活用した遠隔授業での漢字指導について

リオデジャネイロ日本人学校

吉 村 正 浩

## <ビデオ会議システムの画面共有機能で漢字を教える>

- ①ビデオ会議システムにつながったパソコンに、iPad を USB 接続する。そして、画面共有機能を使い、カメラで教科書を映して、新出漢字を確認する。
- ②教師が iPad のアプリ「常用漢字筆順辞典」を開き、子どもの画面に映す。
  - ・手書き機能で新出漢字を検索する。
  - ・筆順を 2 回練習する。  
(声を出して空書き)
  - ・部首、読み方、熟語を確認する。
  - \* 必要があれば、紙の漢字辞典を教師が引き、iPad のカメラで映す。
- ③子どもが、「漢字学習シート」に鉛筆でかく。
  - ・大きな漢字、読み方、部首、総画数を書いて、残りは宿題にする。



## <インターネットの漢字辞典を紹介>

家に国語辞典はあるが、漢字辞典がない児童がいるので、インターネットで見ることが出来る漢字辞典を紹介した。

- ・「漢字辞典オンライン」<https://kanji.jitenon.jp/>  
読み、部首、総画数などで引ける。  
読み方、画数、部首、意味、成り立ち、筆順、熟語などが書いてある。
- ・「OK 辞典：漢字／漢和／語源辞典」<https://okjiten.jp/index.html>  
読み方、画数、部首、意味、成り立ち、筆順、書き方などが書いてある。

## <「漢字学習シート」のファイルを送信>

また、「漢字学習シート」をエクセル(Microsoft Excel)で自作し、4 月当初は印刷して渡したが、遠隔授業が続くことから不足することが予想された。

メールで、「漢字学習シート」のファイルを送り、家庭で印刷するか、ノートを適当に区切って使っても良いことを知らせた。

## <メールで提出、デジタルで添削>

小学 4 年生 4 名の国語の宿題は、ノートの写真をメールで送受信することで対応している。具体的には、次の通りである。

- ①児童がノートに書いた宿題を家で写真に撮り、メールで送ってもらう。
- ②教師が、iPad に保存し、その写真を「写真」アプリで開く。
- ③教師が、「編集」→「マークアップ」機能で、apple pencil を使い、添削する。  
(赤、青、黒、黄、緑、その他の色が使える。  
ペンやマーカー、細いペン、消しゴムなどが使える。)
- ④写真の編集を完了し、メールで返信する。

| 月                |  | 日 |  | 曜日             |      | No. |  |
|------------------|--|---|--|----------------|------|-----|--|
| 短<br>文<br>作<br>り |  |   |  | 熟語・漢字を使った言葉と意味 | 漢字練習 | 漢字  |  |
|                  |  |   |  |                |      | 部首  |  |
|                  |  |   |  |                |      | 読み方 |  |
|                  |  |   |  |                |      | 書き順 |  |
|                  |  |   |  |                |      | 総画  |  |
|                  |  |   |  |                |      | 画   |  |
|                  |  |   |  |                |      |     |  |
|                  |  |   |  |                |      |     |  |
|                  |  |   |  |                |      |     |  |
|                  |  |   |  |                |      |     |  |

漢字学習シート  
名前 ( )

| 5月               |                | 7日   |     | 木曜日 |   | No. 29 |   |
|------------------|----------------|------|-----|-----|---|--------|---|
| 短<br>文<br>作<br>り | 熟語・漢字を使った言葉と意味 | 漢字練習 | 漢字  | 要   | 要 | 要      | 要 |
|                  |                |      | 部首  | 要   | 要 | 要      | 要 |
|                  |                |      | 読み方 | 要   | 要 | 要      | 要 |
|                  |                |      | 書き順 | 要   | 要 | 要      | 要 |
|                  |                |      | 総画  | 要   | 要 | 要      | 要 |
|                  |                |      | 画   | 要   | 要 | 要      | 要 |
|                  |                |      |     | 要   | 要 | 要      | 要 |
|                  |                |      |     | 要   | 要 | 要      | 要 |
|                  |                |      |     | 要   | 要 | 要      | 要 |
|                  |                |      |     | 要   | 要 | 要      | 要 |

重要なやくちりをはたし  
話を要約して伝えた。  
覚束はかんたん

OK!

### [今後の取り組みに向けて]

ICTを活用した遠隔学習での漢字学習は、評価をどうするかが課題である。漢字テストをファイルで送り、鉛筆で書き込み、写真で送ってもらう方法もある。また、漢字学習アプリを使う方法や、デジタルで書き込んですぐに評価する方法も考えられる。他にも漢字の練習や評価の方法について考えていきたい。

漢字を鉛筆で正しく書くだけでなく、「正しく読む」「正しく選ぶ」ことが、これからの生活で必要である。また、「タッチペンや指を使ってデジタルで手書きする」「ひらがなを正確に漢字に変換する」「正確に発音して音声認識で入力する」ことも必要になってくると考えられる。